

必ず、注意事項を読んで報告書を作成してください。

「設置計画履行状況報告書」作成に係る全体の注意事項

提出いただいた報告書に基づき、調査を実施しますので、本報告書は「認可申請書」や「設置届出書」と同様に、事実在即して正確に記すようにお願いします。
なお、本報告書提出後、数値等に誤りがあったとしても原則差し替えは認めません。
提出前に今一度、誤りがないかを確認してください。

＜提出方法＞

1. 本報告は、各担当のメールアドレスにエクセルファイル、PDFファイルをそれぞれ1部添付して提出してください。
2. PDFファイルについては、全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。

＜作成方法＞

1. 必ず報告年度用の最新の様式を使用して作成してください。
2. 本報告書は、設置計画について、認可又は届出時から報告年度までの履行状況を報告するための様式です。
3. 本報告書は、「設置区分」ごとに作成してください。
※「設置区分」とは、設置時の「基本計画書」の「計画の区分」（「学部を設置」、「学部の学科を設置」等）に記載した区分のことです。
4. 本報告書の全ての項目は、報告年度の5月1日現在で作成してください。
5. 様式中の項目にある注意事項は削除せず、記載したままにしてください。
※エクセルファイルのコメント機能で記載している注意事項等は提出時には削除してください。
6. 該当がない項目については様式を削除せず、「該当なし」と記載してください。
7. 教職大学院、専門職大学、専門職短期大学、専門職学科については、別様式の「補足説明資料」も作成してください。
8. 改元に伴う元号は、適宜更新ください。

注3 大学番号 255

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

高野山大学

文学部

教育学科

(必要がある場合) ○○専攻

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人高野山学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 河内長野キャンパス事務室

職名・氏名 ジムチョウ オクダ アキコ
事務長・奥田 晃子

電話番号 0721-53-1101

(夜間) 090-4908-8477

e-mail okuda@koyasan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「○○大学」
- 学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人高野山学園

(2) 大学名

高野山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町1685番地
 〒586-0004 大阪府河内長野市楠木町西1090番地
 (〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山385番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ソエダリュウショウ) 添田 隆昭 (平成25年7月5日)		
学長	(イヌイリュウニン) 乾 龍仁 (平成29年4月1日)	(ソエダリュウショウ) 添田 隆昭 (令和3年4月1日)	学長任期満了により交代 (令和3年4月1日)(3)
副学長(河内長野キャンパス担当)		(オカモトマサシ) 岡本 正志 (令和3年4月1日)	学長の指名により副学長就任 (令和3年4月1日)(3)
教育学科主任	(オカモトマサシ) 岡本 正志 (令和3年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	50人	年次人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	50 (-) [-]	() []	0.22倍	0.22倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	18 (-) [-]	(-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	15 (-) [-]	(-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	15 (-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A									0.22				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	11 [-]	[-]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	11 [-]	[-] (-)

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	目 精神学 空海の思想入門	1前	2									兼1	
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1
	基礎ゼミ科目	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 基礎ゼミⅣ	1前	2			1	1					
			1後	2				2					
			2前	2			1	1					
			2後	2				2					
			小計(4科目)	-	8	0	0	2	6	0	0	0	0
	科ニ外国語 English Communication I English Communication II English Communication III 高野山国際ガイド体験 中国語	1通	2				1						兼1
		2通	2				1						兼1
		3通		1			1						
		2通		1			1						
		2通		2									兼1
		小計(5科目)	-	4	4	0	2	0	0	0	0	0	兼2
	科キキャリア キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	1後	2				1						
		2前	2				1						
		3後	2				1						
		小計(3科目)	-	4	2	0	1	0	0	0	0	0	兼0
教養科目	ほとけの世界 日本国憲法 情報と教育 体育の理論と実技 生涯学習論 平和教育 人権と社会 AIと世界 世界遺産と観光 死生観 身体技法(ダンス) 現代社会と医療 世界の医療課題 常用経典 声明 法式 布教	1前	2									兼1	
		1前	2									兼1	
		1後	2									兼1	
		1後	2	2			1	1					
		3前	2				1						
		3前	2				1						
		3後	2				1						
		1後	2									兼1	
		1前	2									兼1	
		3後	2				1						
		1前	1									兼1	
		1前	2									兼1	
		1後	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
小計(17科目)	-	12	21	0	1	3	0	0	0	0	兼9		
専門科目	理論的科目 教職専門科目 教育原理 教職入門 教育と社会 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 保育教育課程論 道徳教育の理論と方法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 生徒指導論 幼児理解方法論 教育相談 進路指導・キャリア教育 教師力養成特講Ⅰ(HRMマネジメント) 教師力養成特講Ⅱ(学校理解) 教職とICT	1後	2									兼2	
		1後	2				1						
		2後	2				1						
		2前	2									兼1	
		2前	2									兼1	
		2後	2	2			1						
		3前	2	2			1						
		2後	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		3後	2	2			1						
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		2前	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
3後	2	2								兼1			
小計(18科目)	-	14	22	0	3	2	0	0	0	0	兼9		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	目 精神学 空海の思想入門	1前	2									兼1	
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1
	基礎ゼミ科目	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 基礎ゼミⅢ 基礎ゼミⅣ	1前	2			1			1			
			1後	2						2			
			2前	2				1	1				
			2後	2					2				
			小計(4科目)	-	8	0	0	2	5	1	0	0	0
	科ニ外国語 English Communication I English Communication II English Communication III 高野山国際ガイド体験 中国語	1通	2				1						兼1
		2通	2				1						兼1
		3通		1			1						
		2通		1			1						兼1
		2通		2									兼2
		小計(5科目)	-	4	4	0	2	0	0	0	0	0	兼2
	科キキャリア キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	1後	2				1						
		2前	2				1						
		3後	2				1						
		小計(3科目)	-	4	2	0	1	0	0	0	0	0	兼0
教養科目	ほとけの世界 日本国憲法 情報と教育 体育の理論と実技 生涯学習論 平和教育 人権と社会 AIと世界 世界遺産と観光 死生観 身体技法(ダンス) 現代社会と医療 世界の医療課題 常用経典 声明 法式 布教	1前	2									兼1	
		1前	2									兼1	
		1後	2									兼1	
		1後	2	2			1	1					
		3前	2				1						
		3前	2				1						
		3後	2				1						
		1後	2									兼1	
		1前	2									兼1	
		3後	2				1						
		1前	1									兼1	
		1前	2									兼1	
		1後	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
		3通	2									兼1	
小計(17科目)	-	12	21	0	1	2	1	0	0	0	兼9		
専門科目	理論的科目 教職専門科目 教育原理 教職入門 教育と社会 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 保育教育課程論 道徳教育の理論と方法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 生徒指導論 幼児理解方法論 教育相談 進路指導・キャリア教育 教師力養成特講Ⅰ(HRMマネジメント) 教師力養成特講Ⅱ(学校理解) 教職とICT	1後	2									兼2	
		1後	2				1						
		2後	2				1						
		2前	2									兼1	
		2前	2									兼1	
		2後	2	2			1						
		3前	2	2			1						
		2後	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		3後	2	2			1						
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		2前	2	2								兼1	
		2後	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
		3前	2	2								兼1	
3後	2	2								兼1			
小計(18科目)	-	14	22	0	3	2	0	0	0	0	兼9		

専門科目	理論的科目	心理関係科目	発達心理学	2後		2														兼1		
			カウンセリング論	2後		2				1												
			学校臨床心理学	2後		2				1												
			心理身体論 I	3前		2				1												
			心理身体論 II	3後		2																兼1
				小計(5科目)	-	0	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2	
		体験サポート科目	地域体験基礎	1前	2				1													
	科学技術と社会		1後		2			1													兼1	
	植物栽培の基本		1前		2																兼1	
	自然と人間		1後		2																兼1	
	日本文化		1前		2																兼1	
	文学		1後		2					1												
	創作研究		1前		2				1													
	茶道		1後		2																兼1	
書学入門(書道)	1後			2																兼1		
地域体験特論	2後			2				1	1													
			小計(10科目)	-	2	18	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5		
	体験的科目	教育実習 I(小)	3通		4			1														
教育実習 II(幼1)		3通		2				1														
教育実習 III(幼2)		4通		2					1													
保育実習 I(保育所)		3通		2					1													
保育実習 I(福祉施設)		3通		2					1													
保育実習 II		4通		2					1													
保育実習 III		4通		2					1													
教育実習の研究 I(小・事前事後指導)		3通		1					1													
教育実習の研究 II(幼1・事前事後指導)		3通		1					1													
教育実習の研究 III(幼2・事前事後指導)		4通		1						1												
保育実習指導 I(保育所)		3通		1						1												
保育実習指導 I(福祉施設)		3通		1						1												
保育実習指導 II		4通		1						1												
保育実習指導 III		4通		1						1												
			小計(14科目)	-	0	23	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0		
	体験実習科目	学校・保育現場体験	1通	2				1														
学校・保育現場体験		2通	2				2															
学校・保育現場ボランティア		3通		1					2													
地域体験 I		1通	1					1														
地域体験 II		1通	1						1													
地域体験 III		2通	1						1													
地域体験 IV		2通	1						1													
地域体験ボランティア		3通		1						1												
海外留学体験		2通		4					1													
			小計(14科目)	-	8	6	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0		
	課題探求科目	教職実践演習(幼・小)	4後		2			1														
保育実践演習		4後		2					1													
専門基礎演習 I		3前	2				4	8	1													
専門基礎演習 II		3後	2				4	8	1													
専門演習 I		4前	2				4	8	1													
専門演習 II		4後	2				4	8	1													
卒業研究		4通	8				4	8	1													
				小計(7科目)	-	16	4	0	4	8	1										兼0	
			合計(147科目)	-	70	216	0	7	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼38		
卒業要件及び履修方法																						
基礎科目から下記の30単位以上修得 ・建学の精神科目 必修科目2単位 ・基礎ゼミ科目 必修科目8単位 ・外国語コミュニケーション科目 必修科目4単位 ・キャリア科目 必修科目4単位 ・教養科目 必修科目12単位																						
専門科目から下記の64単位以上修得 ・理論的科目の教職専門科目 必修科目14単位 ・理論的科目の小学校教諭関係科目または幼稚園教諭関係科目の選択科目68単位のうち、20単位以上 ・理論的科目の体験サポート科目 必修科目2単位を含む6単位以上 ・体験的科目の体験実習科目 必修科目8単位 ・課題探求科目 必修科目16単位																						
基礎科目、専門科目の上記要件を満たし、さらに選択科目30単位以上、併せて124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限50単位)																						

専門科目	理論的科目	心理関係科目	発達心理学	2後		2															兼1	
			カウンセリング論	2後		2				1												
			学校臨床心理学	2後		2				1												
			心理身体論 I	3前		2				1												
			心理身体論 II	3後		2																兼1
				小計(5科目)	-	0	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2
		体験サポート科目	地域体験基礎	1前	2				1													
	科学技術と社会		1後		2				1													兼1
	植物栽培の基本		1前		2																	兼1
	自然と人間		1後		2																	兼1
	日本文化		1前		2																	兼1
	文学		1後		2					1												
	創作研究		1前		2					1												
	茶道		1後		2																	兼1
書学入門(書道)	1後			2																	兼1	
地域体験特論	2後			2				1	1													
			小計(10科目)	-	2	18	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5	
	体験的科目	教育実習 I(小)	3通		4			1														
教育実習 II(幼1)		3通		2				1														
教育実習 III(幼2)		4通		2					1													
保育実習 I(保育所)		3通		2					1												1	
保育実習 I(福祉施設)		3通		2					1													
保育実習 II		4通		2					1												1	
保育実習 III		4通		2					1													
教育実習の研究 I(小・事前事後指導)		3通		1					1													
教育実習の研究 II(幼1・事前事後指導)		3通		1					1													
教育実習の研究 III(幼2・事前事後指導)		4通		1						1											1	
保育実習指導 I(保育所)		3通		1						1												1
保育実習指導 I(福祉施設)		3通		1						1												
保育実習指導 II		4通		1						1												1
保育実習指導 III		4通		1						1												
			小計(14科目)	-	0	23	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
	体験実習科目	学校・保育現場体験	1通	2				1														
学校・保育現場体験		2通	2				2															
学校・保育現場ボランティア		3通		1					2													
地域体験 I		1通	1					1														
地域体験 II		1通	1						1													
地域体験 III		2通	1						1													
地域体験 IV		2通	1						1													
地域体験ボランティア		3通		1						1												1
海外留学体験		2通		4					1													
			小計(14科目)	-	8	6	0	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0
	課題探求科目	教職実践演習(幼・小)	4後		2			1														

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・ 就任辞退により、「基礎ゼミⅠ」「体育の理論と実技」「体育科内容論」「体育科指導法」「幼児と健康」「保育内容の指導法(健康)」「子どもの健康と安全」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅰ(保育所)」「保育実習指導Ⅱ」「地域体験ボランティア」「専門基礎演習Ⅰ」「専門基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「専任講師Ⅰ」に変更。

・ 就任辞退により、「音楽科内容論」「音楽科指導法」「幼児と表現」「保育内容の指導法(音楽表現)」「表現技術(7/7)」「教育実習Ⅲ(幼2)」「教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導)」「保育実践演習」「専門基礎演習Ⅰ」「専門基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「専任講師Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	113 科目	0 科目	147 科目	34 科目	111 科目	0 科目	145 科目	
				[]	[Δ2]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	現代社会と医療	2	1	一般	選択	怪我による就任不可。後期に時間割配置
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 未開講となった授業科目「現代社会と医療」は担当者の事故による怪我が重く、固定が必要なため、授業を開講することができなかったが、後期に開講できるように時間割の配置を検討した。学生には、ガイダンスで丁寧に説明した。選択科目でもあるので、希望者は後期または、次年度に履修できるように時間割配置を検討している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{147} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪千代田短期大学（必要面積3,000㎡）、大阪 暁光高校（収容定員840 名、面積基準8,400㎡） と共用 ・借用面積：22,981㎡、 借用期間：令和3年4月1 日から令和23年3月31日 ・借用面積：12,648㎡、 借用期間：平成31年4月1 日から令和6年3月31日 ・借用面積：4,095㎡、 借用期間：期間定め無し			
	校 舎 敷 地	24,018㎡	3,982㎡	1,787㎡	29,787㎡				
	運 動 場 用 地	12,648㎡	4,224㎡	12,881㎡	29,753㎡				
	小 計	36,666㎡	8,206㎡	14,668㎡	59,540㎡				
	そ の 他	5,011㎡	14,775㎡	8,539㎡	28,325㎡				
	合 計	41,677㎡	22,981㎡	23,207㎡	87,865㎡				
(2) 校 舎	専 用	13,563㎡	8,166㎡	9,528㎡	31,257㎡	大阪千代田短期大学（必要面積2,850㎡）、大阪 暁光高等学校（収容定員 840名、必要面積5,160 ㎡）と共用 ・借用面積：8,675㎡、 借用期間：令和3年4月1 日から令和23年3月31日			
		(13,563㎡)	(8,166㎡)	(9,528㎡)	(31,257㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	34室	10室	8室	2室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)	大学全体うち講義室14 室、演習室2室、実験実 習室4室、情報処理学習 室1室は大阪千代田短期 大学と共用。実験実習室 1室は大阪暁光高校と共 用		
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 令和3年4月 専任教員1名を新規 採用のため(2)			
	文学部 教育学科			16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 ・図書322,317冊 ・学術雑誌2,125種 ・電子ジャーナル19種 ・視聴覚資料5,250点 大阪千代田短期大学との 共用分全体 ・図書79,597冊 ・学術雑誌28種 ・視聴覚資料1,895点	
		文学部 教育学科	37,022 [1,500] (27,022 [1,017])	40 [24] (28 [18])	0 [0] (0 [0])	2,000 (1,895)	20 (0)		50 (0)
		計	37,022 [1,500] (27,022 [1,017])	40 [24] (28 [18])	0 [0] (0 [0])	2,000 (1,895)	20 (0)		50 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館のうち面積375 ㎡・閲覧座席数59席・収 容可能冊数83,000冊体育 館のうち面積654㎡は大 阪千代田短期大学と共用		
	2,401㎡		149席		450,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,640㎡		第1リズム室 237㎡		武道場 197㎡				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	240千円	240千円	図書購入費	5,077千円	2,000千円	2,000千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	44,707千円	7,304千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,380千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、寄付金等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	高野山大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	80		320		0.46	0.50		昭和24	-	
密教学科	4	30		120	学士(文学)	0.70	0.97		昭和24	和歌山県伊都郡高野町高野山385番地	
人間学科	4	-		-	学士(文学)	-	-	-	平成27	同上	令和3年学生募集停止
教育学科	4	50		200	学士(教育学)	0.22	0.22		令和3	大阪府河内長野市小山田町1685 大阪府河内長野市楠町西1090	
文学研究科											
密教学専攻(博士前期課程)	2	13		26	修士(密教学)	0.31	0.08		昭和26	和歌山県伊都郡高野町高野山385番地	
仏教学専攻(博士前期課程)	2	8		16	修士(仏教学)	0.19	0.38		昭和26	同上	
密教学専攻(博士後期課程)	3	3		9	博士(密教学)	0.56	0.33		昭和44	同上	
仏教学専攻(博士後期課程)	3	3		9	博士(仏教学)	0.00	0.00		昭和44	同上	
密教学専攻(通信教育課程)	2	20		40	修士(密教学)	1.15	1.10		平成16	同上	
大学全体	-	207		740	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学部 教育学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (副学長・学部長)	岡本 正志 (72) <令和3年4月> 教育学修士	専	教授 (副学長・学部長)	岡本 正志 (72) <令和3年4月> 教育学修士
		科学技術と社会 地域体験特論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			科学技術と社会
専	教授	今西 幸蔵 (73) <令和3年4月> 文学士	専	教授	今西 幸蔵 (73) <令和3年4月> 文学士
		基礎ゼミⅢ 教職入門 生徒指導論 学校・保育現場体験Ⅰ 教職実践演習(幼・小) 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ
専	教授	菅野(中村)久美子 (69) <令和3年4月> 文学士	専	教授	菅野(中村)久美子 (69) <令和3年4月> 文学士
		English CommunicationⅢ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ			キャリアデザインⅠ
専	教授	伊藤 佳世子 (62) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	専	教授	伊藤 佳世子 (62) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※
		English CommunicationⅠ English CommunicationⅡ 高野山国際ガイド体験 創作研究 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			English CommunicationⅠ 創作研究 海外留学体験
専	教授	原島 昌雄 (69) <令和3年4月> 教育学 修士	専	教授	原島 昌雄 (69) <令和3年4月> 教育学 修士
		理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境			理科内容論
専	教授	山田 正行 (67) <令和3年4月> 博士 (教育学)	専	教授	山田 正行 (67) <令和3年4月> 博士 (教育学)
		基礎ゼミⅠ※ 生涯学習論 平和教育 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			基礎ゼミⅠ※
専	准教授	奥田 修一郎 (63) <令和3年4月> 修士 (教育学)	専	准教授	奥田 修一郎 (64) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		基礎ゼミⅢ 人権と社会 総合的な学習の時間の指導法 社会科内容論 社会科指導法 地域体験基礎 地域体験Ⅳ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			社会科内容論 地域体験基礎
専	准教授	村屋 駿 (58) <令和3年4月> 修士 (教育学) ※	専	准教授	村屋 駿 (58) <令和3年4月> 修士 (教育学) ※
		基礎ゼミⅡ※ 国語科内容論 国語科指導法 文学 教育実習Ⅰ(小) 教育実習の研究Ⅰ(小・事前事後指導) 学校・保育現場ボランティア 地域体験Ⅲ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究			基礎ゼミⅡ※ 国語科内容論 文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	瀧淵 淳 (47) <令和3年4月> 修士 (社会福祉学) ※ 基礎ゼミⅣ 子ども家庭福祉 社会福祉論 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子育て支援 保育実習Ⅰ(福祉施設) 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(福祉施設) 保育実習指導Ⅲ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	瀧淵 淳 (47) <令和3年4月> 修士 (社会福祉学) ※ 社会福祉論
専	准教授	青木 宏樹 (45) <令和3年4月> 博士 (学術) 基礎ゼミⅠ※ 体育の理論と実技 体育科内容論 体育科指導法 幼児と健康 保育内容の指導法(健康) 子どもの健康と安全 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅱ 地域体験Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専	講師	本山 眞 (29) <令和3年10月> 修士 (教育学)
専	准教授	松本(堀澤) 歩子 (36) <令和3年4月> 博士 (学術) 基礎ゼミⅡ※ 家庭科内容論 家庭科指導法 子どもの食と栄養 教育実習Ⅱ(幼1) 教育実習の研究Ⅱ(幼1・事前事後指導) 学校・保育現場ボランティア 地域体験Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	松本(堀澤) 歩子 (37) <令和3年4月> 博士 (学術) 基礎ゼミⅡ※ 家庭科内容論 地域体験Ⅱ
専	准教授	柳原 高文 (64) <令和3年4月> 修士 (農学) 基礎ゼミⅣ 生活科内容論 生活科指導法 保育内容の指導法(環境) 地域体験特論 学校・保育現場体験Ⅱ 地域体験Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	柳原 高文 (64) <令和3年4月> 修士 (農学) 地域体験Ⅰ
専	講師	佐藤 慶治 (34) <令和3年4月> 修士 (比較社会文化) 音楽科内容論 音楽科指導法 幼児と表現 保育内容の指導法(音楽表現) 表現技術(ピアノ) 教育実習Ⅲ(幼2) 教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導) 保育実習演習 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	専	準教授	鐘田 直穂子 (60) <令和3年4月> 修士 (児童教育学) ※ 音楽科内容論
専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国 初等英語科内容論 初等英語科指導法	専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国 初等英語科内容論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	乾 龍仁 (68) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門
兼任	准教授	野田 悟 (50) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	講師	永島 龍弘 (77) <令和3年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	青木 淳英 (45) <令和3年4月> 法学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 勝則 (57) <令和3年4月> 理学士
		情報と教育 AIと世界 教職とICT
兼任	講師	雲田 好史 (64) <令和3年4月> 博士 (工学)
		世界遺産と観光
兼任	講師	範 行雄 (45) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		身体技法(ダンス)
兼任	講師	早川 和生 (69) <令和3年4月> 医学 博士
		現代社会と医療 世界の医療課題
兼任	講師	岡部 美香 (51) <令和3年4月> 博士 (人間 科学)
		教育原理
兼任	講師	曾我部 和馬 (33) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		教育原理 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (44) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		幼児理解方法論
兼任	講師	岡本 文章 (61) <令和3年4月> 博士 (芸術学)
		音楽Ⅰ(表現技法) 音楽Ⅱ(表現技法) 茶道
兼任	講師	吉次(塩山)豊見 (44) <令和3年4月> 修士 (学校教育学)
		幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高田 隆昭 (73) <令和3年4月> 文学博士 ※
		空海の思想入門
兼任	准教授	野田 悟 (50) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	講師	永島 龍弘 (77) <令和3年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	青木 淳英 (47) <令和3年4月> 法学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 勝則 (57) <令和3年4月> 理学士
		情報と教育 AIと世界 教職とICT
兼任	講師	雲田 好史 (64) <令和3年4月> 博士 (工学)
		世界遺産と観光
兼任	講師	範 行雄 (45) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		身体技法(ダンス)(未開講)
兼任	講師	早川 和生 (69) <令和3年4月> 医学 博士
		現代社会と医療(未開講) 世界の医療課題
兼任	講師	岡部 美香 (51) <令和3年4月> 博士 (人間 科学)
		教育原理
兼任	講師	曾我部 和馬 (33) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		教育原理
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (44) <令和3年4月> 修士 (教育学)
		幼児理解方法論
兼任	講師	岡本 文章 (61) <令和3年4月> 博士 (芸術学)
		音楽Ⅰ(表現技法) 茶道
兼任	講師	吉次(塩山)豊見 (44) <令和3年4月> 修士 (学校教育学)
		幼児と人間関係

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂倉 史郎 (60) <令和3年4月> 学校教育学修士	兼任	講師	坂倉 史郎 (60) <令和3年4月> 学校教育学修士
		保育者論			保育者論
兼任	講師	釜島 美智代 (58) <令和3年4月> 経済学士	兼任	講師	釜島 美智代 (58) <令和3年4月> 経済学士
		子どもの保健			子どもの保健
兼任	講師	南 亜紀子 (43) <令和3年4月> 修士 (臨床心理学)※	兼任	講師	南 亜紀子 (43) <令和3年4月> 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育			障害児保育
兼任	講師	竹田 義 (65) <令和3年4月> 博士 (農学)	兼任	講師	竹田 義 (65) <令和3年4月> 博士 (農学)
		植物栽培の基本			植物栽培の基本
兼任	講師	那須 義次 (66) <令和3年4月> 博士 (農学)	兼任	講師	那須 義次 (66) <令和3年4月> 博士 (農学)
		自然と人間			自然と人間
兼任	講師	浅井 雅宏 (62) <令和3年4月> 美術 学士	兼任	講師	浅井 雅宏 (62) <令和3年4月> 美術 学士
		日本文化			日本文化

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は報告届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・佐藤慶治専任講師就任辞退により、植田准教授に変更。令和3年5月AC教員審査済み。
- ・青木宏樹准教授就任辞退により、本山司専任講師に変更。令和3年7月AC教員審査に提出中。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	8	2	0	17	0	6	6	2	0	14	0
[6]	[6]	[2]	[0]	[14]	[0]						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	8	2	0	17	0	8	7	2	0	17	0
[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[0]	[Δ 1]	[▲ 1]	[2]	[0]	[14]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	7	9
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{14} = \boxed{50} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由					
12	准教授	青木 宏樹	R3.4	必修	基礎ゼミⅠ	①	R3.4 病気療養のため就任辞退 (3)					
				必修	専門基礎演習Ⅰ	①						
				必修	専門基礎演習Ⅱ	①						
				必修	専門演習Ⅰ	①						
				必修	専門演習Ⅱ	①						
				必修	卒業研究	①						
				選択	体育の理論と実技	①						
				選択	体育科内容論	①						
				選択	体育科指導法	①						
				選択	幼児と健康	①						
				選択	保育内容の指導法(健康)	①						
				選択	子どもの健康と安全	①						
				選択	保育実習Ⅰ(保育所)	①						
				選択	保育実習Ⅱ	①						
				選択	保育実習指導Ⅰ(保育所)	①						
14	講師	佐藤 慶治	R3.4	必修	専門基礎演習Ⅰ	①	R3.4 介護のため進方への就任ができず就任辞退 (3)					
				必修	専門基礎演習Ⅱ	①						
				必修	専門演習Ⅰ	①						
				必修	専門演習Ⅱ	①						
				必修	卒業研究	①						
				選択	音楽科内容論	①						
				選択	音楽科指導法	①						
				選択	幼児と表現	①						
				選択	保育内容の指導法(音楽・表現)	①						
				選択	表現技術(ピアノ)	①						
				選択	教育実習Ⅲ(幼2)	①						
				選択	音楽科の習熟(楽・楽器専攻)	①						
				選択	保育実践演習	①						
				合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)				
				就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
2	人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目			
		選択	19 科目	選択	19 科目	選択	0 科目	選択	0 科目			
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目			
		計	30 科目	計	30 科目	計	0 科目	計	0 科目			

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		【該当なし】							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
【該当なし】	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
#VALUE!	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
	選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
	自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
	計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\#VALUE!}{17} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		【該当なし】							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
【該当なし】	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ この度の就任辞退は、いずれもやむを得ない事由により、教員を補充して対応した。
 ・ 学生に対しては、時間割等に掲載し、ガイダンス等でも説明した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和3年)	履修コースの決定は2年次進級時であるが、教員免許や保育士資格取得のために必要な科目の一部は1年次から開講されるため、履修ガイダンス等を確実に実施し、学生の進路希望に応じた適切な履修指導を行うこと。また、いずれかのコースに希望者が偏る場合、大阪府内だけでなく隣県の実習先を用いる必要が生じるため、各学生の実習先をどのように調整するかを基準を定めるとともに、学生の理解が得られるよう丁寧に説明・周知を行うこと。	遵守事項 履修ガイダンス及びアドバイザーによる定期的な履修指導を行い、学生の進路希望に応じた指導に努めている。 また、いずれかのコースに希望者が偏る場合に、各学生の実習先をどのように調整するかを基準を定めようように準備を始める。	履行中
認可時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 教員の組織編成においては、将来構想を踏まえて重要課題として位置付けて検討を重ねている。	履行中
認可時 (令和3年)	新設学科において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。 理事の構成が特定の法人関係者に偏っていることから、その構成の見直しについて検討すること。 理事会及び評議員会が書面での持ち回りで行われていたことから、集会の形式により行うこと。 法人本部とは別地のキャンパスに新設学科を設置することから、新設学科の業務を適切に執行するための事務処理体制について、計画どおり整備すること。 完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。 寄附行為上、既に廃止認可された高野山幼稚園についての記載があることから、速やかに適切な手続きを行うこと。	研修会を頻繁に設定し、戦略的な取り組みに努めている。 理事の構成について、一部見直した。 集会以の形式で実施している。 執行部会議及び連絡会議を頻繁に設定し、業務を適切に執行するよう努めている。 中長期的な財政計画の策定し、経営基盤の安定確保に努める。 すでに寄附行為の変更手続きを行った。	履行中 履行済 履行中 履行中 履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<△△学部 ○○学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目 9 4 単位、選択科目 3 0 単位 ② 施設・設備 a 講義室34室、演習室10室、実験実習室8室、情報処理 学習施設2室、語学学習施設1室 c 図書は大学全体322, 327冊	① 履修年次を再度検討し、教育課程の充実を図る。 ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室等 アメニティスペースを拡げるように検討する。 図書は必要に応じて購入する。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD・SD委員会を設置した。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SD委員会を7月に開催予定。研修会等を開催する。 c 委員会の審議事項等 研修内容について、審議する。 ② 実施状況 a 実施内容 ・教員の相互の授業参観について検討。 ・教員の研修会内容について検討。 b 実施方法 ・教職員全員が参加できる形式を検討。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・7月開催予定のため、未定。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・授業参観について、講評等行い、今後の授業改善に努める。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・前期終了時に実施予定 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・アンケート結果を集計して、ファイリングし、公表できる形式とする。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的の達成状況に関しては、年度ごとに総括評価を行うとともに、ディプロマポリシーに掲げた内容に対する達成状況も分析し、今後の教育・研究活動の反映に努める。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
- ・令和4年6月1日 公表
- b 公表方法
- 記入例）
・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上にも公開予定（令和4年8月予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）
- ・次回評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和3年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

